

事前評価書

都道府県名	長崎県	関係市町村	新上五島町
-------	-----	-------	-------

事業名	水産資源環境整備事業 (水産生産基盤整備事業)		
地区名	コウベ 神部	事業主体	長崎県

I 基本事項

1. 地区概要			
漁港名(種別)	神部漁港(第2種)	漁場名	-
陸揚金額	1,740 百万円	陸揚量	1,263 トン
登録漁船隻数	36 隻	利用漁船隻数	66 隻
主な漁業種類	海面養殖業(魚類)	主な魚種	ぶり、まぐろ
漁業経営体数	13 経営体	組合員数	41 人
地区の特徴	当地区は、五島列島の中央に位置しており、リアス式海岸特有の複雑な地形を有し、静穏水域を利用したマグロやブリの養殖漁業が盛んに営まれている。マグロとブリの生産量はどちらも圏域内の生産量全体の約2割を占めているなど、生産拠点漁港として重要な役割を担っている。		
2. 事業概要			
事業目的	<p>当漁港ではマグロやブリ養殖の準備・陸揚げを行っているが、これらの陸揚量及び飼料の使用量は近年増加傾向にあり、今後も増加が見込まれている。このような中で、一本釣り漁業と共通で利用している浮棧橋が狭隘であるため、順番待ちが発生するほか、干満差の大きい岸壁での作業を余儀なくされており、非効率かつ危険な作業状況となっている。このため、既設浮棧橋を改良するとともに、新たな浮棧橋を整備し、作業環境の改善及び漁業者の安全性を確保し、漁業活動の生産性向上を図る。</p> <p>加えて、潮位差の大きい地域であるため、小型船の給油作業時には、岸壁との間の高低差が大きくなり、危険かつ重労働を強いられている。このため、既設岸壁に干満差に対応できる浮体式係船岸を設置し、就労環境を改善し、安全性及び効率性の向上を図る。</p> <p>また、生け簀や漁網を補修する用地が未舗装であることから、漁具の損耗が著しいほか、補修作業時に網が砂利に引っかかる等、非効率な環境となっている。このため、用地舗装を実施し、漁具補修作業の効率化を図る。</p>		
主要工事計画	浮棧橋N=1基、浮棧橋(改良)N=1基、-3m岸壁(改良)L=15m、用地(改良)A=2,159m ²		
事業費	1,200百万円	事業期間	令和8年度～令和13年度

II 必須項目

1. 事業の必要性		
<p>神部漁港は、静穏水域を利用したマグロやブリの養殖漁業が盛んに営まれており、上五島圏域における生産拠点漁港として重要な役割を担っているが、陸揚げ・準備施設が不足しており、沖待ちが発生している。加えて、漁具の補修作業において用地が未舗装であり、漁網の手繰り寄せ作業に時間を要するなど、非効率な作業を余儀なくされている。また、漁船の給油作業において、潮位による岸壁との高低差がある中での作業を強いられており、重労働かつ危険な状況にある。</p> <p>以上から、漁業活動の安全性・効率性の向上のため、浮棧橋の新設、改良整備、岸壁の改良整備、用地舗装整備を行う必要がある。</p>		
2. 事業採択要件		
<p>① 計画事業費 1,200,000千円（採択要件：500,000千円以上）</p> <p>② 利用漁船数 66隻（採択要件：50隻程度以上）</p> <p>③ 陸揚金額 17.40億円（採択要件：1億円程度以上）</p>		
<p>(1) 利用面、防護面、施工面等から適切な位置を選定するための地理的条件、自然条件に関する基本的な調査</p> <p>周辺の深浅図、潮位、波浪、背後地の状況等を調査済み</p>		
<p>(2) 施設の利用の見込み等に関する基本的な調査</p> <p>神部漁港を利用する漁業者にヒアリングを行い、将来の利用形態について調査済み。</p>		
<p>(3) 自然環境、生活環境等の周辺環境及びそれと与える影響の把握</p> <p>計画施設周辺の底質（岩、砂等）を調査済み</p>		
4. 事業を実施するために必要な調整		
<p>(1) 地元漁業者、地元住民等との調整</p> <p>本地区を利用している神部漁業協同組合及び地元住民との調整済み</p>		
<p>(2) 関係都道府県、関係市町村、関係部局（隣接海岸、道路、河川、港湾、環境等）との事前調整</p> <p>新上五島町と事前調整済み</p>		
5. 事業の投資効果が十分見込まれること		
費用便益比 B/C :	1.27	※別紙「費用対効果分析集計表」のとおり

III 優先配慮項目

分類項目			評価指標	評価	
大項目	中項目	小項目			
有効性	生産力の向上と力強い産地づくり	生産	水産資源の保護・回復	水産資源の維持・保全	—
			資源管理諸施策との連携	—	
		漁家経営の安定 (水産物の安定供給)	生産量の増産（持続・増産・下降抑制）	B	
		生産コストの縮減等（効率化・計画性の向上）	B		
		水域環境の保全・創造	水質・底質の維持・改善	—	
			環境保全効果の持続的な発揮	—	
	陸揚げ荷捌き集出荷流通加工	安全・安心な水産物提供	品質確保	—	
			消費者への安定提供	B	
		漁業活動の効率化	漁港等の機能の強化	B	
		労働環境の向上	就労改善等	A	
	生活	生活者の安全・安心確保	定期船の安定運航	—	
			災害時の緊急対応	—	
	漁業の成長力強化	漁業の生産性向上	生産量等の拡大・安定化や効率化等	A	
		水産物流通に与える効果	水産物流通量等の拡大・安定化や効率化、水産物の販路や輸出拡大等	—	
地域経済に与える効果		加工場等関連産業の集積、雇用者数増加、交流人口の増加等	—		
効率性	コスト縮減対策	計画時におけるコスト縮減対策の検討	A		
事業の実施環境	他計画との整合		地域の水産関連計画等との整合性及び地元調整	A	
	他事業との調整・連携		他事業との調整・連携	—	
	循環型社会の構築		リサイクルの促進等	A	
	環境への配慮		生態系への配慮等	B	
	多面的機能発揮に向けた配慮		多面的機能の発揮	—	

IV 総合評価

本地区は、上五島圏域圏域における養殖漁業の生産基地として非常に重要な役割を担っているが、陸揚げ・出漁準備施設不足により沖待ちが発生しているほか、未舗装地での漁具の補修作業を行っており、非効率な作業環境となっている、また、潮位による高低差の中で給油作業を強いられており、危険かつ重労働となっている。

本事業では、浮棧橋、浮体式係船岸の整備により、安全性・効率性を確保するものであり、費用対効果分析の結果、費用便益比も1.0を超えていることから、事業の実施は妥当であると判断される。

多段階評価の評価根拠について

分類項目			評価指標	評価根拠	評価	
大項目	中項目	小項目				
有効性	生産力の向上と力強い産地づくり	水産資源の保護・回復	水産資源の維持・保全	該当なし	—	
			資源管理諸施策との連携	該当なし	—	
		生産	漁家経営の安定(水産物の安定供給)	生産量の増産(持続・増産・下降抑制)	浮棧橋の新設及び改良により、水産物の陸揚げ作業が効率化され、継続的に生産量を維持できる計画であるため「B」と評価した。	B
				生産コストの削減等(効率化・計画性の向上)	浮棧橋や浮体式係船岸の整備により、漁業活動の効率化が図られる計画であるため「B」と評価した。	B
		水域環境の保全・創造	水質・底質の維持・改善	水質・底質の維持・改善	該当なし	—
				環境保全効果の持続的な発揮	該当なし	—
		陸揚げ荷捌き集出荷流通加工	安全・安心な水産物提供	品質確保	該当なし	—
				消費者への安定提供	浮棧橋の新設及び改良により、水産物の陸揚から搬出までの時間短縮や沖待ち時間の短縮が図られるため「B」と評価した。	B
			漁業活動の効率化	漁港等の機能の強化	浮棧橋の新設及び改良により、水産物の陸揚から搬出までの時間短縮や沖待ち時間の短縮が図られ、生産拠点としての機能強化が期待されるため「B」と評価した。	B
			労働環境の向上	就労改善等	浮棧橋や浮体式係船岸の整備により、給油作業時の重労働や危険な作業が解消され、高齢者や女性に配慮した計画であるため「A」と評価した。	A
	生活	生活者の安全・安心確保	定期船の安定運航	該当なし	—	
			災害時の緊急対応	該当なし	—	
	漁業の成長力強化	漁業の生産性向上	生産量等の拡大・安定化や効率化等	浮棧橋の新設及び改良により、水産物の陸揚から搬出までの時間短縮や沖待ち時間の短縮等、作業の効率化が図られるため「A」と評価した。	A	
			水産物流通に与える効果	水産物流通量等の拡大・安定化や効率化、水産物の販路や輸出拡大等	該当なし	—
			地域経済に与える効果	加工場等関連産業の集積、雇用者数増加、交流人口の増加等	該当なし	—
	効率性	コスト削減対策	計画時におけるコスト削減対策の検討	既存施設を有効活用できるよう改良した上で、浮棧橋や浮体式係船岸の設置位置や形状を比較検討し、総合的なコスト削減を図る計画であるため「A」と評価した。	A	
	事業の実施環境等	他計画との整合	地域の水産関連計画等との整合性及び地元調整	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025及び長崎県水産業振興基本計画(2021→2025)の推進につながる事業であり、地元調整も図られているため「A」と評価した。	A	
他事業との調整・連携		他事業との調整・連携	該当なし	—		
循環型社会の構築		リサイクルの促進等	施工にあたり、再生砕石の有効活用が見込まれ、リサイクルの促進につながる計画であるため「A」と評価した。	A		
環境への配慮		生態系への配慮等	施工にあたり、水域環境への影響を抑制するように十分配慮した計画であるため「B」と評価した。	B		
多面的機能発揮に向けた配慮		多面的機能の発揮	該当なし	—		

費用対効果分析集計表

1 基本情報

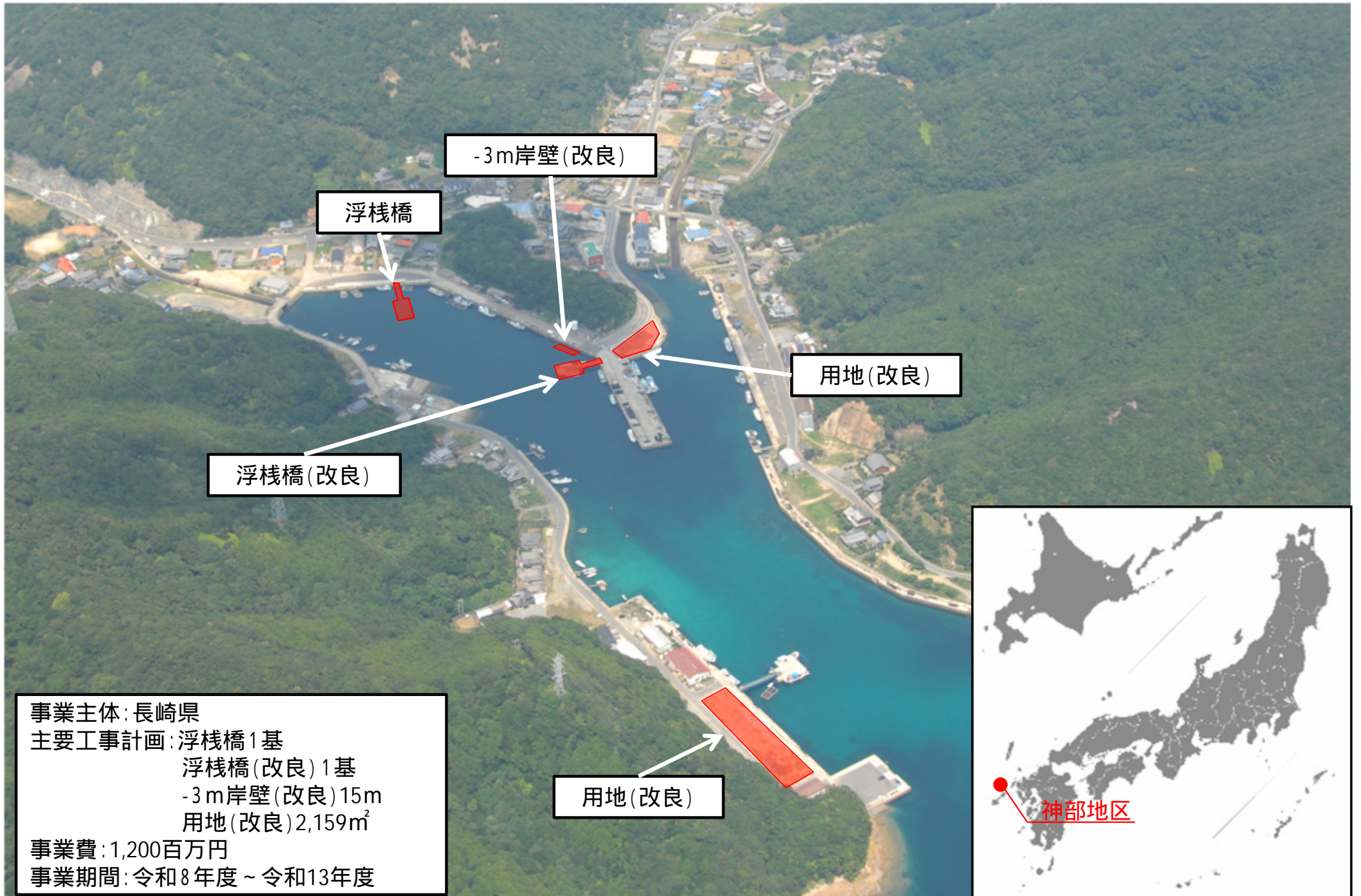
都道府県名	長崎県	地区名	神部
事業名	水産生産基盤整備事業	施設の耐用年数	50年

2 評価項目

便益の評価項目及び便益額	評価項目		便益額（現在価値化）	
	便益の評価項目及び便益額	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	1,192,089
②漁獲機会の増大効果				千円
③漁獲可能資源の維持・培養効果				千円
④漁獲物付加価値化の効果				千円
漁業就業環境の向上		⑤漁業就業者の労働環境改善効果	117,950	千円
生活環境の向上		⑥生活環境の改善効果		千円
地域産業の活性化		⑦漁業外産業への効果		千円
非常時・緊急時の対処		⑧生命・財産保全・防御効果		千円
		⑨避難・救助・災害対策効果		千円
自然保全・文化の継承		⑩自然環境保全・修復効果		千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
その他		⑬施設利用者の利便性向上効果		千円
		⑭その他		千円
	計（総便益額）	B	1,310,039	千円
	総費用額（現在価値化）	C	1,032,306	千円
	費用便益比	B/C	1.27	

3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

- ・就労環境の改善により、年齢や性別を問わない漁業活動が可能になり、労働意欲の向上が図られる。



神部地区 水産生産基盤整備事業の効用に関する説明資料

1. 事業概要

- (1) 事業目的 : 当漁港ではマグロやブリ養殖の準備・陸揚げを行っているが、これらの陸揚量及び飼料の使用量は近年増加傾向にあり、今後も増加が見込まれている。このような中で、一本釣り漁業と共通で利用している浮棧橋が狭隘であるため、順番待ちが発生するほか、干満差の大きい岸壁での作業を余儀なくされており、非効率かつ危険な作業状況となっている。このため、既設浮棧橋を改良するとともに、新たな浮棧橋を整備し、作業環境の改善及び漁業者の安全性を確保し、漁業活動の生産性向上を図る。
- 加えて、潮位差の大きい地域であるため、小型船の給油作業時には、岸壁との間の高低差が大きくなり、危険かつ重労働を強いられている。このため、既設岸壁に干満差に対応できる浮体式係船岸を設置し、就労環境を改善し、安全性及び効率性の向上を図る。
- また、生け簀や漁網を補修する用地が未舗装であることから、漁具の損耗が著しいほか、補修作業時に網が砂利に引っかかる等、非効率な環境となっている。このため、用地舗装を実施し、漁具補修作業の効率化を図る。
- (2) 主要工事計画 : 浮棧橋 1基
 浮棧橋(改良) 1基
 -3m岸壁(改良) 15.0m
 用地(改良) 2,159.0m²
- (3) 事業費 : 1,200百万円
- (4) 工期 : 令和8年度～令和13年度

2. 総費用便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

「水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン」(令和7年6月改定 水産庁)及び同「参考資料」(令和7年6月 水産庁)等に基づき算定

「水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン」及び同「参考資料」等に基づき算定

区分	算定式	数値
総費用(現在価値化)	①	1,032,306 (千円)
総便益額(現在価値化)	②	1,310,039 (千円)
総費用総便益比	②/①	1.27

(2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費(千円)
浮棧橋	N=1基	510,000
浮棧橋(改良)	N=1基	510,000
-3m岸壁(改良)	L=15m	150,000
用地(改良)	A=2,159 m ²	30,000
計		1,200,000
維持管理費等		300,000
総費用(消費税込)		1,500,000
内、消費税額		136,364
総費用(消費税抜)		1,363,636
現在価値化後の総費用		1,032,306

(3) 年間標準便益

効果項目	区分	年間標準便益額(千円)	効果の要因
水産物生産コストの削減効果		70,110	・給油作業時間の削減効果 ・出入港作業時間の削減効果 ・沖待時間の削減効果
漁業就業者の労働環境改善効果		6,937	・就労環境の改善効果
計		77,047	

(4) 費用及び便益の現在価値算定表

評価期間	年度	割引率 ①	デフ レータ ②	費用 (千円)			便益 (千円)			
				事業費 (維持管理 費含む)	事業費 (税抜)	現在価値 (維持管理 費含む) ①×②×③	水産物 生産コスト 削減効果	労働環境改善効果	計 ④	現在価値 (千円) ①×④
0	7	1.000	1.000	0	0	0	0	0	0	0
1	8	0.962	1.000	82,000	74,545	71,712	0	0	0	0
2	9	0.925	1.000	76,000	69,091	63,909	0	0	0	0
3	10	0.889	1.000	350,150	318,318	282,984	0	115	0	115
4	11	0.855	1.000	242,450	220,409	188,449	0	115	0	115
5	12	0.822	1.000	178,450	162,227	133,350	1,104	186	0	1,291
6	13	0.790	1.000	278,150	252,864	199,762	1,104	186	0	1,291
7	14	0.760	1.000	6,000	5,455	4,145	70,110	6,937	0	77,047
8	15	0.731	1.000	6,000	5,455	3,987	70,110	6,937	0	77,047
9	16	0.703	1.000	6,000	5,455	3,834	70,110	6,937	0	77,047
10	17	0.676	1.000	6,000	5,455	3,687	70,110	6,937	0	77,047
11	18	0.650	1.000	6,000	5,455	3,545	70,110	6,937	0	77,047
12	19	0.625	1.000	6,000	5,455	3,409	70,110	6,937	0	77,047
13	20	0.601	1.000	6,000	5,455	3,278	70,110	6,937	0	77,047
14	21	0.577	1.000	6,000	5,455	3,147	70,110	6,937	0	77,047
15	22	0.555	1.000	6,000	5,455	3,027	70,110	6,937	0	77,047
16	23	0.534	1.000	6,000	5,455	2,912	70,110	6,937	0	77,047
17	24	0.513	1.000	6,000	5,455	2,798	70,110	6,937	0	77,047
18	25	0.494	1.000	6,000	5,455	2,694	70,110	6,937	0	77,047
19	26	0.475	1.000	6,000	5,455	2,590	70,110	6,937	0	77,047
20	27	0.456	1.000	6,000	5,455	2,487	70,110	6,937	0	77,047
21	28	0.439	1.000	6,000	5,455	2,394	70,110	6,937	0	77,047
22	29	0.422	1.000	6,000	5,455	2,301	70,110	6,937	0	77,047
23	30	0.406	1.000	6,000	5,455	2,214	70,110	6,937	0	77,047
24	31	0.390	1.000	6,000	5,455	2,127	70,110	6,937	0	77,047
25	32	0.375	1.000	6,000	5,455	2,045	70,110	6,937	0	77,047
26	33	0.361	1.000	6,000	5,455	1,969	70,110	6,937	0	77,047
27	34	0.347	1.000	6,000	5,455	1,892	70,110	6,937	0	77,047
28	35	0.333	1.000	6,000	5,455	1,816	70,110	6,937	0	77,047
29	36	0.321	1.000	6,000	5,455	1,750	70,110	6,937	0	77,047
30	37	0.308	1.000	6,000	5,455	1,680	70,110	6,937	0	77,047
31	38	0.296	1.000	6,000	5,455	1,614	70,110	6,937	0	77,047
32	39	0.285	1.000	6,000	5,556	1,583	70,110	6,937	0	77,047
33	40	0.274	1.000	6,000	5,556	1,522	70,110	6,937	0	77,047
34	41	0.264	1.000	6,000	5,556	1,466	70,110	6,937	0	77,047
35	42	0.253	1.000	6,000	5,556	1,405	70,110	6,937	0	77,047
36	43	0.244	1.000	6,000	5,556	1,355	70,110	6,937	0	77,047
37	44	0.234	1.000	6,000	5,556	1,300	70,110	6,937	0	77,047
38	45	0.225	1.000	6,000	5,556	1,250	70,110	6,937	0	77,047
39	46	0.217	1.000	6,000	5,556	1,205	70,110	6,937	0	77,047
40	47	0.208	1.000	6,000	5,556	1,155	70,110	6,937	0	77,047
41	48	0.200	1.000	6,000	5,556	1,111	70,110	6,937	0	77,047
42	49	0.193	1.000	6,000	5,556	1,072	70,110	6,937	0	77,047
43	50	0.185	1.000	6,000	5,556	1,027	70,110	6,937	0	77,047
44	51	0.178	1.000	6,000	5,556	988	70,110	6,937	0	77,047
45	52	0.171	1.000	6,000	5,455	932	70,110	6,937	0	77,047
46	53	0.165	1.000	6,000	5,455	900	70,110	6,937	0	77,047
47	54	0.158	1.000	6,000	5,455	861	70,110	6,937	0	77,047
48	55	0.152	1.000	6,000	5,455	829	70,110	6,937	0	77,047
49	56	0.146	1.000	6,000	5,455	796	70,110	6,937	0	77,047
50	57	0.141	1.000	6,000	5,455	769	70,110	6,937	0	77,047
51	58	0.135	1.000	6,000	5,455	736	70,110	6,937	0	77,047
52	59	0.130	1.000	6,000	5,455	709	70,110	6,937	0	77,047
53	60	0.125	1.000	5,850	5,318	664	70,110	6,822	0	76,932
54	61	0.120	1.000	5,850	5,318	638	70,110	6,822	0	76,932
55	62	0.116	1.000	2,550	2,318	268	69,006	6,751	0	75,757
56	63	0.111	1.000	2,550	2,318	257	69,006	6,751	0	75,757
計				1,500,000.00		1,032,306		計		1,310,039

※評価期間は、便益対象施設が複数ある場合、各施設の整備毎に効果が発生するものとして算定

3. 効果額の算定方法

(1) 水産物生産コストの削減効果

1) 給油作業時間の削減効果

【-3m岸壁（改良）】

-3m岸壁の改良整備（浮体式係船岸整備）により漁船の給油作業性が向上し、作業時間の削減効果が期待できる。

区分		備考
対象漁船隻数（隻）	① 35	令和5年度港勢調査より 1日あたり標準的最多利用状況（漁船・準備）
給油1隻あたり作業人数（人）	② 2.00	調査年月日：令和6年11月22日 調査対象者：神部漁協協同組合員 調査実施者：長崎県 上五島支所職員 調査方法：ヒアリング調査
整備前 作業時間（時間）	③ 0.3	
整備後 作業時間（時間）	④ 0.1	【給油作業時間】 待ち時間、網取り、給油、出港準備 等
給油回数（回/年）	⑤ 48	
漁業者労務単価（円/時）	⑥ 1,643	R7.12 長崎県原単位
年間便益額（千円）	1,104	$(① * ②) \times (③ - ④) \times ⑤ \times ⑥ / 1,000$
総便益額（千円）	1,104	

2) 出入港作業時間の削減効果

【浮棧橋】、【浮棧橋（改良）】

浮棧橋及び浮棧橋（改良）の整備による漁船の出入港準備作業の効率性向上による漁船準備作業時間の削減効果が期待できる。

【マグロ養殖】

区分		備考
対象漁船隻数（隻）	…浮棧橋利用漁船数 ①	15
1隻あたり作業人数（人）	②	7
整備前 作業時間（時間）	…出入港合計 ③	1.5
整備後 作業時間（時間）	…出入港合計 ④	0.7
出漁回数（回）	⑤	305
漁業者労務単価（円/時）	⑥	1,643
年間便益額（千円）		42,094
		(①*②)×(③-④)×⑤×⑥ /1,000

【ブリ、ハマチ等の養殖】

区分		備考
対象漁船隻数（隻）	…浮棧橋利用漁船数 ①	15
1隻あたり作業人数（人）	②	7
整備前 作業時間（時間）	…出入港合計 ③	1.0
整備後 作業時間（時間）	…出入港合計 ④	0.7
出漁回数（回）	⑤	300
漁業者労務単価（円/時）	⑥	1,643
年間便益額（千円）		15,526
		(①*②)×(③-④)×⑤×⑥ /1,000

総便益額（千円）	57,620	
----------	--------	--

3) 沖待時間の削減効果

【浮棧橋】、【浮棧橋（改良）】

現在、既設の浮棧橋を複数の漁業者が同時に利用している状況にあり、滞船が発生している。浮棧橋及び浮棧橋（新設）の整備により、陸揚げおよび準備作業スペースが増設され、漁船の沖待時間の削減効果が期待できる。

区分		備考
対象漁船隻数（隻）	…浮棧橋利用漁船数 ①	15
1隻あたり作業人数（人）	②	7
整備前 沖待時間（時間）	③	1.2
整備後 沖待時間（時間）	④	0.0
滞船頻度（回/年）	⑤	55
漁業者労務単価（円/時）	⑥	1,643
年間便益額（千円）		11,386
		(①*②)×(③-④)×⑤×⑥/1,000

総便益額（千円）	11,386	
----------	--------	--

(2) 漁業就労者の労働環境改善効果

1) 浮棧橋（新設）整備による就労環境の改善効果

【浮棧橋】、【浮棧橋（改良）】

現在、既設の浮棧橋を複数の漁業者が同時に利用している状況にあり、作業スペースが不足している。浮棧橋及び浮棧橋（新設）の整備により、養殖の準備作業への十分な作業スペースが確保され、労働環境改善効果が期待できる。

【マグロ養殖】

区分			備考
対象漁船隻数（隻）	…浮棧橋利用漁船数	①	15
1隻あたり作業人数（人）		②	7
準備作業時間（時間）	～マグロ養殖～	③	2
年間出漁日数	～マグロ養殖～	④	305
年間作業時間（時間）	③×④	⑤	610
整備前の労働環境ランク[基準値]	Bランク (Sb)	⑥	1.043
整備後の労働環境ランク[基準値]	Cランク (Sc)	⑦	1.000
漁業者労務単価（円/時）		⑧	1,643
年間便益額（千円）			(①*②)×⑤×(⑥-⑦)×⑧ /1,000

【ブリ、ハマチ等の養殖】

区分			備考
対象漁船隻数（隻）	…浮棧橋利用漁船数	①	15
1隻あたり作業人数（人）		②	7
準備作業時間（時間）	～ブリ、ハマチ、ヒラマサ養殖～	③	1.0
年間出漁日数	～ブリ、ハマチ、ヒラマサ養殖～	④	300
年間作業時間（時間）	③×④	⑤	300
整備前の労働環境ランク[基準値]	Bランク (Sb)	⑥	1.043
整備後の労働環境ランク[基準値]	Cランク (Sc)	⑦	1.000
漁業者労務単価（円/時）		⑧	1,643
年間便益額（千円）			(①*②)×⑤×(⑥-⑦)×⑧ /1,000

総便益額（千円）	6,751
----------	-------

施設整備前後の労働環境評価チェックシート

【浮棧橋】、【浮棧橋（改良）】

評価指標	pt	チェック		根拠	
		整備前	整備後		
危険性	事故等の発生頻度	a 作業中の事故や病気が頻発している	3		
		b 過去に作業中の事故や病気が発生したことがある	2	○	
		c 過去に実績は無いが、発生が懸念される	1		
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○
	事故等の内容	a 生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3		
		b 一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2	○	
		c 通院不要で数日で完治するようなく軽いケガ	1		
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○
危険性 小計		0~6	4	0	
作業環境	a 極めて過酷な作業環境である	5			
	b 風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3			
	c 風雨等の影響を受ける場合がある	1			
	d 当該地域における標準的な作業環境である	0	○	○	上五島地区における標準的な作業環境である
重労働性	a 肉体的負担が極めて大きい作業	5			
	b 肉体的負担が比較的大きい作業	3	○		長時間での同じ姿勢での作業を強いられる
	c 肉体的負担がある作業	1			
	d 通常の作業と同等程度の肉体的負担	0		○	労働環境改善により重労働性が改善される
評価ポイント 計			7	0	

Aランクの条件: 評価ポイント計 16~13pt.

《評価ランク》 B C

Bランクの条件: 評価ポイント計 12~ 6pt.

Cランクの条件: 評価ポイント計 5~ 0pt.

2) 漁網補修用地整備による就労環境の改善効果

【用地（改良）】

現在、当施設用地では漁網の補修が行われている。用地舗装の整備により労働環境改善効果が期待できる。マグロおよびブリ・ハマチ・ヒラマサの養殖に用いる生け簀を対象とした。

【マグロ養殖】

区分				備考
マグロ用漁網の補修における作業人数（人）	①	4		調査年月日：令和6年11月22日 調査対象者：神部漁業協同組合員 調査実施者：長崎県 上五島支所職員 調査方法：ヒアリング調査
製作頻度（回/年）	②	25		
1回当りの作業時間（時間）	③	2.0		
年間作業時間（時間）	②×③	④	50.0	
整備前の労働環境ランク[基準値]	Bランク (Sb)	⑤	1.043	労働環境改善効果の評価基準（R7年12月長崎県版）
整備後の労働環境ランク[基準値]	Cランク (Sc)	⑥	1.000	労働環境改善効果の評価基準（R7年12月長崎県版）
漁業者労務単価（円/時）	⑦	1,643		R7.12 長崎県原単位
年間便益額（千円）		14.1		①×④×(⑤-⑥)×⑦ /1,000

【ブリ、ハマチ等の養殖】

区分				備考
ブリ・ハマチ用漁網の補修における作業人数（人）	①	4		調査年月日：令和6年11月22日 調査対象者：神部漁業協同組合員 調査実施者：長崎県 上五島支所職員 調査方法：ヒアリング調査
製作頻度（回/年）	②	25		
1回当りの作業時間（時間）	③	2.0		
年間作業時間（時間）	②×③	④	50.0	
整備前の労働環境ランク[基準値]	Bランク (Sb)	⑤	1.043	労働環境改善効果の評価基準（R7年12月長崎県版）
整備後の労働環境ランク[基準値]	Cランク (Sc)	⑥	1.000	労働環境改善効果の評価基準（R7年12月長崎県版）
漁業者労務単価（円/時）	⑦	1,643		R7.12 長崎県原単位
年間便益額（千円）		14.1		①×④×(⑤-⑥)×⑦ /1,000
総便益額（千円）		28		

施設整備前後の労働環境評価チェックシート

【浮桟橋】、【浮桟橋（改良）】

危険性	評価指標	pt.	チェック		根拠	
			整備前	整備後		
危険性	事故等の発生頻度	a 作業中の事故や病気等が頻発している	3			
		b 過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2	○	直近5年程度での事故の発生がある	
		c 過去に実績は無いが、発生が懸念される	1			
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○	労働環境改善により事故等の危険性が低減される
	事故等の内容	a 生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3			
		b 一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2	○		作業車両の落下事故
		c 通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1			
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○	労働環境改善により事故等の危険性が低減される
危険性 小計		0~6	4	0		
作業環境	a 極めて過酷な作業環境である	5				
	b 風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3				
	c 風雨等の影響を受ける場合がある	1				
	d 当該地域における標準的な作業環境である	0	○	○	上五島地区における標準的な作業環境である	
重労働性	a 肉体的負担が極めて大きい作業	5				
	b 肉体的負担が比較的大きい作業	3	○		長時間での同じ姿勢での作業を強いられる	
	c 肉体的負担がある作業	1				
	d 通常の作業と同等程度の肉体的負担	0		○	労働環境改善により重労働性が改善される	
評価ポイント 計			7	0		

Aランクの条件：評価ポイント計 16～13pt.

Bランクの条件：評価ポイント計 12～6pt.

Cランクの条件：評価ポイント計 5～0pt.

《評価ランク》 B C

3) 生け簀の作成・補修用地整備による就労環境の改善効果

【用地(改良)】

現在、当施設用地では生け簀の作成・補修が行われている。舗装用地の改良整備により労働環境改善効果が期待できる。マグロおよびブリ・ハマチ・ヒラマサの養殖に用いる生け簀を対象とした。

【マグロ養殖】

区分		備考
【生け簀の製作】～マグロ～		
生け簀の作成における作業人数(人)	①	6
製作頻度(回/年)	②	21
1回当りの作業時間(時間)	③	4.0
年間作業時間(時間)	②×③	84.0
【生け簀の補修】～マグロ～		
生け簀の補修における作業人数(人)	⑤	4
補修頻度(回/年)	⑥	21
1回当りの作業時間(時間)	⑦	3.0
年間作業時間(時間)	⑥×⑦	63.0
整備前の労働環境ランク[基準値]	Bランク(Sb)	⑨
整備後の労働環境ランク[基準値]	Cランク(Sc)	⑩
漁業者労務単価(円/時)		⑪
年間便益額(千円)		
		1,043
		1,000
		1,643
		53.4
		労働環境改善効果の評価基準(R7年12月長崎県版)
		労働環境改善効果の評価基準(R7年12月長崎県版)
		R7.12 長崎県原単位
		$(①*④)+⑤*⑧) \times (⑨-⑩) \times ⑪ / 1,000$

【ブリ、ハマチ等の養殖】

区分		備考
【生け簀の製作】～ブリ、ハマチ、ヒラマサ～		
生け簀の作成における作業人数(人)	①	6
製作頻度(回/年)	②	6
1回当りの作業時間(時間)	③	5.0
年間作業時間(時間)	②×③	30.0
【生け簀の補修】～ブリ、ハマチ、ヒラマサ～		
生け簀の補修における作業人数(人)	⑤	5
補修頻度(回/年)	⑥	30
1回当りの作業時間(時間)	⑦	2.0
年間作業時間(時間)	⑥×⑦	60.0
整備前の労働環境ランク[基準値]	Bランク(Sb)	⑨
整備後の労働環境ランク[基準値]	Cランク(Sc)	⑩
漁業者労務単価(円/時)		⑪
年間便益額(千円)		
		1,043
		1,000
		1,643
		33.9
		労働環境改善効果の評価基準(R7年12月長崎県版)
		労働環境改善効果の評価基準(R7年12月長崎県版)
		R7.12 長崎県原単位
		$(①*④)+⑤*⑧) \times (⑨-⑩) \times ⑪ / 1,000$
総便益額(千円)		87

4) -3m岸壁整備による給油時の就労環境の改善効果

【-3m岸壁（改良）】

-3m岸壁の改良整備を行うことで係留作業および給油作業を軽作業化できるため、労働環境改善効果が期待できる。

区分			備考
対象漁船隻数（隻）	①	35.00	令和5年度港勢調査より 1日あたり標準的の最多利用状況（漁船・準備）
給油1隻あたり作業人数（人）	②	2.00	調査年月日：令和6年11月22日 調査対象者：神部漁業協同組合員
給油作業時間（時間）	③	0.3	調査実施者：長崎県 上五島支所職員 調査方法：ヒアリング調査
給油回数（回/年）	④	48	（給油作業時間：10分≒0.2時間）
整備前の労働環境ランク[基準値]	Bランク (Sb)	⑤	1.043
整備後の労働環境ランク[基準値]	Cランク (Sc)	⑥	1.000
漁業者労務単価（円/時）	⑦	1,643	R7.12 長崎県原単位
年間便益額（千円）		71.2	(①*②) × (⑤-⑥) × ③ × ④ × ⑦ /1,000
総(便益額)（千円）		71	

施設整備前後の労働環境評価チェックシート

【-3m岸壁(改良)】

評価指標	pt.	チェック		根拠		
		整備前	整備後			
危険性	事故等の発生頻度	a 作業中の事故や病気等が頻発している	3			
		b 過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2	○		直近5年程度での事故の発生がある
		c 過去に実績は無いが、発生が懸念される	1			
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○	労働環境改善により事故等の危険性が低減される
	事故等の内容	a 生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3			
		b 一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2			
		c 通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1	○		漁業者の転倒による軽い打撲
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○	労働環境改善により事故等の危険性が低減される
危険性 小計		0~6	3	0		
作業環境	a 極めて過酷な作業環境である	5				
	b 風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3	○		潮位差の影響が大きい作業環境である	
	c 風雨等の影響を受ける場合がある	1				
	d 当該地域における標準的な作業環境である	0		○	上五島地区における標準的な作業環境である	
重労働性	a 肉体的負担が極めて大きい作業	5				
	b 肉体的負担が比較的大きい作業	3	○		潮位差が大きく重労働を強いられる	
	c 肉体的負担がある作業	1				
	d 通常の作業と同等程度の肉体的負担	0		○	労働環境改善により重労働性が改善される	
評価ポイント 計			9	0		

Aランクの条件： 評価ポイント計 16～13pt.

Bランクの条件： 評価ポイント計 12～ 6pt.

Cランクの条件： 評価ポイント計 5～ 0pt.

《評価ランク》 B C